

1 運営協議会の開催状況 ※ひとつくりネットワークと共催ではなく単独で開催した学校運営協議会についても記載

回数	月日 (曜)	参加者数	議事内容 (テーマ・話題)	会の持ち方の工夫、成果・課題 等
第1回	6/5 (水)	14名	会則について 組織について 目的及び今年度の活動について	今年度から学校運営協議会と兼ねての開催となった。会則の承認、昨年度の取組、今年度の活動について意見を交流し、大まかな日程や役割について確認することができた。
第2回	2/20 (木)	14名	今年度の活動報告 (成果と課題) 来年度に向けての計画 コーディネーターの打診	学校運営協議会と兼ねての開催とした。今年度は児童、保護者、地域の方と「めざす子ども像」について熟議を行うことができた。その成果を実生活にどうつなげていくかが、今後の課題である。
第3回	/ ()	名		
第4回	/ ()	名		
第5回	/ ()	名		

2 懇談会の開催状況

回数	月日 (曜)	参加者数 [主な所属 (内訳)]	議事内容 (テーマ・話題)	会の持ち方の工夫、成果・課題 等
第1回	8/20 (火)	55名 (6年児童) 15名【教員】 11名【運営協議会構成員・歴史研究会会員・保護者】	「あいさついっぱいの出部にするために学校や地域にできることを考えよう」	登校日の3時間目に開催。児童が12グループに分かれ、地域の方・保護者・教員と一緒に挨拶について熟議を行った。現状の確認、それぞれの立場でできること等について意見交換した。児童の素直な気持ちを知ることができて良かったという感想が多かった。
第2回	/ ()	名 []		
第3回	/ ()	名 []		

3 めざす子ども像 (地域像、学校像、家庭像等)

あいさつができる子ども
 多様な世代の方々と話することができる子ども
 地域のために活動できる子ども

4 めざす子ども像の実現に向けた地域学校協働活動のアイデア

夏フェスタでの出店の管理・運営 (まちおこし協議会) (8/4)

5 地域学校協働活動の実施に係る主な連携及び支援団体

出部地区まちおこし協議会 イベント部会 (夏フェスタの出店の企画運営)

◆めざす子ども像（地域像、学校像、家庭像等）

- あいさつができる子ども ○多様な世代の方々と話をする事ができる子ども ○地域のために活動できる子ども

◆活動の様子



▲8/20（火）ネットワーク懇談会
6年生児童が地域の方、保護者、教員と「めざす子ども像」について熟議を行った。交流を通して、今後の取組について考えるきっかけとなった。



▲1/30（木）Ancsプログラム
6年生児童が地域の大人に関わり、「いばら愛」について考える活動をした。交流を通して、自分の将来像について考えるきっかけとなった。

▲5/24（金）学区探検・安全マップづくり
3年生児童が地事前に学習したことをもとに、保護者の方や地域の方と、実際に現地を巡った。地域の危険箇所をまとめる活動を通して、より安全に地区で過ごす意識を高めた。

▲9/26（木）町たんけん
2年生出部小学校区内にある施設や建物を中心に、地域の方と学習を進めた。事前に考えた質問を積極的にするなど、意欲的に学習できた。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 登校日に6年生全員が残り、地域や保護者、教員とめざす子ども像である「あいさつができる子ども」について熟議を行うことができたのは良かった。子どもたちが地域の方と直接触れ合ったり、意見を交流したりする機会はなかなかないので、お互いの気持ちや考えを知る良い機会となった。
- △総合的な学習では、他にも地域の方と交流する学習を計画したが、計画が変更になったり、学習内容を共に進めてくださる方がなかなか見付からなかったりして、共に学習する場を設定できなかった。
- △ネットワーク懇談会で今後の活動のヒントを得たものの、行事や授業との兼ね合いがあり、なかなか思うように具体的な活動に結びつけることができなかった。
- ☆来年度も、今年度同様に登校日にネットワーク懇談会等で「めざす子ども像」について地域の方や保護者の方も一緒に熟議を行い、さらに深化させるための共通理解を図りたい。そして、地域でも子どもたちが参加できる活動を企画し、学校と地域が連携して出部地区の子どもたちの成長を支えたい。